城南家保ニュース Vol.26-10

熊本県城南家畜保健衛生所
〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1
TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617
E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/

平成 27 年がスタート！！

あけましておめでとうございます。昨年は高病原性鳥インフルエンザの発生に伴いたくさんの方々に御協力いただき終息させることができました。また、豚では豚流行性下痢の全国的な流行とその後のＰＥＤマニュアルの公表等がありました。

本年は家畜伝染病の発生やまん延がないよう、さらに防疫意識が高まるよう頑張っていきますのでよろしくお願いします。

牛の異常産ワクチンについて

寒い時期が続いていますが、牛の**アカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病**による異常産のワクチン接種の時期が近くなりました。これらの疾病は、吸血昆虫によって媒介され、子牛の奇形等の異常産の原因となります。
予防法は適切な時期の確実なワクチン接種となりますので、よろしくお願いします。
※ワクチン接種に関しては以下のとおりですので、参考にされてください。

異常産ワクチン接種について

○ 接種時期：ヌカカの活動が本格的に始まる前の3月～5月
○ 接種回数：初めて接種する牛→ ４週間間隔で２回接種（産歴問わず）
　　　　　　昨年接種した牛 → １回接種
○ 対　　象：繁殖用母牛及び搾乳牛（ただし、以下のものは除く。）
　　　　　　1． 発熱・下痢など臨床症状を認めるもの
　　　　　　2． 分娩間近または直前のもの
　　　　　　3． 治療中または治療後間もないもの
○ 申し込み：肉用牛飼養農場は各市町村、乳用牛は酪農組合まで

子牛の下痢症～クリプトスポリジウム対策～

年間を通して病性鑑定で家保によく持ち込まれるものに、子牛の下痢症があげられます。中でも、クリプトスポリジウムに関してはその後の対策の質問が寄せられますので、以下にクリプトスポリジウムの対策をまとめました。

クリプトスポリジウムの根本的な**治療法、ワクチン、消毒薬はありません**。
　→対策は、環境からクリプトスポリジウムをなくし、下痢から早く回復させること。

【対策】
- 適切な堆肥化（６０℃以上)、カーフハッチの熱湯消毒。　⇒環境の清浄化
  （熱によるクリプトスポリジウムのオーシスト(卵)の死滅）
- 補液、抗生物質投与等による下痢の対症療法と二次感染防止。　⇒損耗軽減
- 感染牛の隔離飼育（他の牛との接触防止）によるまん延防止。　⇒まん延防止

　※人にも感染すると激しい下痢をおこすので、手洗いうがい等が重要です。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生月日	畜種	型
口蹄疫	韓国	１２月３日～１２月１９日	豚	O
高病原性鳥インフルエンザ	インド	11月28日～１２月１１日	あひる	H5N1
	ベトナム	１１月２９日～１２月１３日	家きん	H5

１月５日現在

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は家畜伝染病の発生があり、家保からは伝染病の発生状況の提供や、消毒や飼養衛生管理基準の遵守について連絡させていただき、密な連絡が取れたかと思います。

また、毎年１回以上は農場に訪問させていただき、農場の状態を見させていただいているのですが、自分たちも飼養衛生管理の状況を確認するだけでなく、近況なども教えていただきたいので、家保からお邪魔した際には色々とお話しいただければと思います。

今年もよろしくお願いします。（K.F）